

# 博士課程教育リーディングプログラム 平成28年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成25年度		
機関名	東京大学	全体責任者（学長）	五神 真
類型	複合領域型（多文化共生社会）	プログラム責任者	石井洋二郎
整理番号	S01	プログラムコーディネーター	内野 儀
プログラム名称	多文化共生・統合人間学プログラム		

## <プログラム進捗状況概要>

### 1. プログラムの目的・大学の改革構想

本学位プログラムの目的は、学際的・複合領域的な5年一貫の博士課程教育プログラムを実施することで、多文化共生社会の実現に取り組む次世代トップリーダーを養成することである。本学位プログラムは、多文化共生の理念へのチャレンジを先導する人材に必要な学知を、専門性を備えたうえでのさらに広い視座を持ち、新たな価値の創造を可能とする新しい教養と定め、「統合人間学」と特徴づける。本事業は社会に統合的人間学を修めた優秀な人材を輩出すると同時に、多文化共生社会の実現には「教養」が必要であると広く社会に向けて提言する。こうした本学位プログラムの目的は、東京大学の中期的ビジョンを示す「東京大学行動シナリオ: FOREST 2015」における「真の教養を備えたタフな学生」の理念や「東京大学ビジョン2020」における「基礎力の涵養と『知のプロフェッショナル』の育成」に合致している。本プログラムの直接的なアウトプットは多文化共生社会の実現を目指す次世代トップリーダーを輩出することであるが、アウトカムとして、人文科学・社会科学・自然科学の新たな大学院教育の理念としての統合人間学を社会に提示することが挙げられる。

### 2. プログラムの進捗状況

多文化共生社会の実現に取り組む次世代トップリーダーを養成するため、平成28年度は本プログラムの更なる定着を図り、教育内容をより一層充実させた。修士課程1年の19名（うち秋入学3名）の学生を新たに受け入れ、教育プロジェクト「生命のかたち」「共生のプラクシス」「科学技術と共生社会」「Producing Multicultural Communities」「多文化共生と想像力」、およびそれぞれの地域、テーマに関する11の教育ユニットを引き続き整備し、講義科目、演習科目、実習科目を本プログラム生に提供するとともに国内外での研修等も積極的に行い、プログラムの総合的推進とキャリアパスに応じたプログラム生へのサポートを充実させた。また平成26年度からプログラム生となった博士後期課程の9名が所定の単位を取得し、プログラムを修了した。また本学総合文化研究科に独自プログラム化することが決定し、平成30年度入学試験より学生の募集を開始することとなった。